

## 命名権取得者を公募しています

施設の管理運営費などの財源を確保するため、50を超える公共施設の命名権取得者を先着順で公募しています。  
 園財政課(☎504-2075、☎504-2099)

**【応募資格】**次の①②のいずれにも該当する法人か個人 ①県内に本社か支店などの事業所がある。法人以外は、応募者か応募団体の代表者の住所が県内にある ②その他、市が定める除外要件に該当しない  
**【内容・条件】**●契約金額 年間100万円(※)以上。ただし、運動広場(戸坂・沼田は除く)・庭球場(新宮苑は除く)・市民農園は、年間50万円(※)以上

※消費税と地方消費税は除く  
 ●呼称使用期間 原則3年間以上  
 その他、詳しい応募内容・条件などを記載した公募要項は市ホームページか財政課で  
**【応募方法】**公募要項に記載している各対象施設の担当課へ持参か、郵送(特定記録郵便)で

市HP ページ番号 15973



### 命名権取得者を公募している施設

- 区民文化センター・区図書館の合築施設(中・西・安佐南・安芸区は除く)
- まんが図書館 ●区スポーツセンター(中・東・安佐南・安佐北区は除く)
- 屋内プール(総合屋内プールは除く) ●クアハウス湯の山 ●運動広場 ●庭球場(中央庭球場は除く) ●市民農園 ●広島駅南口地下広場
- 大型映像表示装置 ●植物公園大温室 ●公園 など

現在、25の公共施設で命名権を導入しています。

### 【●施設名称/呼称】

- 文化交流会館ホール/広島文化学園HBGホール ●中央庭球場/広島翔洋テニスコート ●大町バスターミナル/大和興産大町バスター

ミナル ●安佐動物公園こども動物園(ぴーちくパーク)/三井のリハウス ぴーちくパーク など  
 その他、導入している施設について詳しくは市ホームページで。

市HP ページ番号 292291



## 観光親善大使を募集します

広島観光の魅力を市内外にPRし、広島のイメージアップを図ってまいります。

市内に在住か通勤・通学の18歳以上(11月17日時点。高校生は除く)で、11月17日(金)から1年間、市内外で行われる行事約50回に参加できる人。性別、未婚・既婚は不問

選考審査1次9月19日(火)/最終9月27日(水)

所定の申込書で、8月31日(木)(消印有効)までに、観光コンベンション



ビューロー魅力創造部へ。申込書は、同部ホームページ、観光案内所(平和記念公園内)、市役所市民ロビー、区役所などで。選考3人  
 ☎554-1811、☎554-1815



ひろしま  
そだち  
kitchen  
キッチン

### 豚バラとなすのレンジ蒸し

vol.27

#### Point

なすの皮には、紫外線から体を守る抗酸化成分が含まれ、日差しの強い夏にぴったりです。



#### 材料2人分

なす	2本(200g)
豚バラ肉(薄切り)	150g
酒	大さじ2
塩・こしょう	適量
ぼん酢	大さじ3
砂糖	大さじ1/2
おろししょうが	小さじ1
ごま油	小さじ1/2
青ねぎ	適量

- 1 なすは5mm幅の輪切りにし、豚バラ肉は4cmの長さに切る
- 2 耐熱皿になすと豚バラ肉を交互に重ねる
- 3 ②に①をかけ、ふんわりとラップをして、電子レンジ(600W)で5分加熱する(火の通り具合に応じて、1~2分程度追加で加熱)
- 4 ③をボウルに入れて混ぜる
- 5 小口切りにした青ねぎを③に散らし、④をかける

(レシピ提供:ひろしまそだちなす農家・山本俊男さん)

市HP ページ番号 4872

毎月第3日曜日は「ひろしま地産地消の日」(ひろしま産day)



## 「平和文化」を広め、世界恒久平和の実現を目指す

8月6日に行われた平和記念式典で、松井市長が世界へ向け平和宣言を行いました。全文を紹介し、園平和推進課(☎242-7831、☎242-7452)



### 平和宣言

78年前の原爆投下の日を、まるで生き地獄のようだったと振り返る当時8歳の被爆者は、「核兵器を保持する国の指導者たちは、広島、長崎の地を訪ね、自らの目で、耳で、被爆の実相を知る努力をしていただきたい。あの日、熱線で灼かれ、瞬時に失われた命、誰からも看取られず、やけどや放射能症で苦しみながら失われていった命。こうして失われた数え切れない多数の人々の命の重さを、この地で感じてもらいたい。」と訴えています。

本年5月のG7広島サミットで各国首脳が平和記念資料館の視察や被爆者との対話を経て記帳された芳名録は、こうした被爆者の願いが各国首脳の心に届いていることの証になると思います。また、慰霊碑を参拝された各国首脳に私から直接お伝えした碑文に込められた思い、すなわち、過去の悲しみに耐え、憎しみを乗り越えて、全人類の共存と繁栄を願い、真の世界平和を祈念する「ヒロシマの心」は、皆さんの心に深く刻まれているものと思います。こうした中、G7で初めて「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」が独立の文書としてまとめられ、全ての者にとっての安全が損なわれない形での核兵器のない世界の実現が究極の目標であることが再確認されました。それとともに、各国は、核兵器が存在する限りにおいて、それを防衛目的に役立てるべきであるとの考えが示されました。

しかし、核による威嚇を行う為政者がいるという現実を踏まえるならば、世界中の指導者は、核抑止論は破綻しているということ直視し、私たちを厳しい現実から理想へと導くための具体的な取組を早急に始める必要があるのではないのでしょうか。市民社会においては、一人一人が、被爆者の「こんな思いは他の誰にもさせてはならない」というメッセージに込められた人類愛や寛容の精神を共有するとともに、個人の尊厳や安全が損なわれない平和な世界の実現に向け、為政者に核抑止論から脱却を促すことがますます重要になっています。

かつて祖国インドの独立を達成するための活動において非暴力を貫いたガンジーは、「非暴力は人間に与えられた最大の武器であり、人間が発明した最強の武器よりも強い力を持つ」との言葉を残しています。また、国連総会では、平和に焦点を当てた国連文書として「平和の文化に関する行動計画」が採択されています。今、起こっている戦争を一刻も早く終結させるためには、世界中の為政者が、こうし

た言葉や行動計画を踏まえて行動するとともに、私たちもそれに呼応して立ち上がる必要があります。

そのため、例えば、私たちが日常生活の中で言葉や国籍、信条や性別を超えて感動を分かち合える音楽や美術、スポーツなどに接し、あるいは参加して「夢や希望がある」といった気持ちになれるような社会環境を整えることが重要となります。皆さん、そうした社会環境を整えるために、世界中に「平和文化」を根付かせる取組を広めていきましょう。そうすれば、市民の支持を必要とする為政者は、必ずや市民と共に平和な世界に向けて行動するようになることを確信しています。

広島市は、世界166か国・地域の8,200を超える平和首長会議の加盟都市と共に、市民レベルでの交流を通して「平和文化」を世界中に広めます。そして、平和を願う私たちの総意が為政者の心に届き、武力によらず平和を維持する国際社会が実現する環境を作ることを目指しています。また、被爆者の平和への思いを世界中の若者に知ってもらい、国境を越えて広め、次世代に引き継げるようにするために、被爆の実相に関する本市の取組をさらに拡充していきます。

各国の為政者には、G7広島サミットに訪れた各国首脳に続き、広島を訪れ、平和への思いを発信していただきたい。その上で、市民社会が求める理想の実現に向け、核による威嚇を直ちに停止し、対話を通じた信頼関係に基づく安全保障体制の構築に向けて一歩を踏み出すことを強く求めます。

日本政府には、被爆者を始めとする平和を願う国民の思いをしっかりと受け止め、核保有国と非核保有国との間で現に生じている分断を解消する橋渡し役を果たしていただきたい。そして、一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となり、核兵器廃絶に向けた議論の共通基盤の形成に尽力するために、まずは本年11月に開催される第2回締約国会議にオブザーバー参加していただきたい。また、平均年齢が85歳を超え、心身に悪影響を及ぼす放射線により、生活面で様々な苦しみを抱える多くの被爆者の苦悩に寄り添い、被爆者支援策を充実することを強く求めます。

本日、被爆78周年の平和記念式典に当たり、原爆犠牲者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います。

令和5年(2023年)8月6日

広島市長 松井 一寛